

【追加信託の概要】

信託の種類	金銭信託以外の金銭の信託（他益信託）
信託の目的	株式給付規程に基づき当社株式等の財産を受益者に給付すること
委託者	当社
受託者	みずほ信託銀行株式会社 みずほ信託銀行株式会社は資産管理サービス信託銀行株式会社と包括信託契約を締結しており、資産管理サービス信託銀行株式会社は再信託受託者です。
受益者	株式給付規程の定めにより財産給付を受ける権利が確定した者
信託管理人	当社の従業員より選定
議決権行使の方針	当社の従業員より選定された信託管理人からの指図に従い、本信託勘定内の当社株式に係る議決権を行使します。
追加信託日	2019年8月23日（予定）
追加信託金額	42,800,000円（予定）

3. 処分価額の算定根拠及びその具体的内容

処分価額につきましては、本自己株式処分の取締役会決議日の直前営業日までの1か月間（2019年7月8日から2019年8月6日まで）の株式会社東京証券取引所における当社普通株式の終値平均である856円（円未満切捨）といたしました。

取締役会決議日の直前営業日までの1か月間の終値平均を基準としたのは、特定の一時点を基準にするより、一定期間の平均株価という平準化された値を採用する方が、一時的な株価変動の影響など特殊要因を排除でき、算定根拠として客観性が高く合理的であると判断したためです。また、算定期間を直近1か月としたのは、直近3か月、直近6か月と比較して、直近のマーケットプライスに最も近い一定期間を採用することが合理的であると判断したためです。

なお、処分価額856円については、取締役会決議日の直前営業日の終値838円に対して102.15%を乗じた額であり、取締役会決議日の直前営業日から遡る直近3か月間の終値平均833円（円未満切捨）に対して102.76%を乗じた額であり、あるいは同直近6か月間の終値平均827円（円未満切捨）に対して103.51%を乗じた額となっております。上記を勘案した結果、本自己株式処分に係る処分価額は、特に有利なものとはいえ、合理的なものと判断しております。

なお、上記処分価額につきましては、取締役会に出席した監査役3名（うち2名は社外監査役）が、特に有利な処分価額には該当しない旨の意見を表明しております。

4. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本自己株式処分は、①希薄化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、株式会社東京証券取引所の定める有価証券上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続は要しません。

以上